



# JCLIFE

2022年  
5月号



一般社団法人尾道青年会議所 <http://www.ojc.or.jp/> 〒722-0035 尾道市土堂2-10-3 尾道商工会議所ビル3F  
TEL:0848-20-1110 FAX:0848-20-1112 E-mail:ojc@urban.ne.jp Facebook:<http://www.facebook.com/isojcnw>

家族会

## そぞうしょう!

# カラクリエイト

## Kara Create

4月17日(日)、私たち青少年育成委員会は原田芸術文化交流館やまそらにて家族会を開催致しました。「そぞうしょう!カラクリエイト」をテーマに、カラクリ装置の作成や、竹で炊き込みご飯を作るといった、日常生活ではできない体験を企画しました。カラクリ装置の作成では、何度も失敗と挑戦を繰り返し、想像を形にする楽しさと難しさを感じて頂きました。最後はグループごとに作った装置を一続きにし、装置が連続して動く様子を見て、子供も大人も大いに盛り上がっていました。

また、昼食では竹飯盒で炊き込みご飯を作りました。中に焦げてしまったものもありましたが、それも経験だと子ども達と一緒に食べているメンバーもいらっやいました。

当日は晴天に恵まれた事もあり、多くの方にご参加をいただき誠にありがとうございました。当委員会では今後も様々な事業を展開して参りますので、今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

(記事：青少年育成委員会 中司 昌克)



# 4月例会

4月例会は、東広島青年会議所

OBの木村先輩にお越し頂き、拡大についての必要性についてお話いただきました。木

村先輩は、委員長時代に37人の会員を入会された経歴をもたれている方で、青年会議所の活動の伝え方に定評があります。ご本人が会に入会して学んだことの事例を活用しながら、わかりやすく丁寧に指導していただきました。

青年会議所の活動を、パーソナルトレーナーと二緒

に取り組み筋トレに例え「青年会議所の活動は筋トレみたいに辛い時大変な時があるけど、辛い時に寄り添ってくれる仲間がいる。また、自分一人では鍛えられないけれど、パーソナルトレーナーみたいな限界を超える後押しをしてくれる仲間ができる。そして、自分の不得意なところを指摘して指導してくれるそんな寄り添ってくれる先輩がいる。青年会議所はそのような団体です。」と、言われていたのがとても印象的でした。

拡大活動は6月末までとなっております。現状仮

入会員を7名いただいております。現状仮す。目標の20名まであと13人となっております。青年会議所の活動を地域に波及するためにも会員の拡大は必須です。皆様のご協力重ね重ねよろしくお願いいたします。

(記事…会員拡大委員会委員長 沼尾一)



4月16日、昨年度の事業おのみち2525プロジェクトで走行を開始した笑顔あふれるフルラッピングバスのラストランとなりました。

昨年の11月6日より約5か月間、尾道のまちを隈なく走り、コロナ禍の中でも多くの笑顔を市民のみなさまにお届けすることができました。側面のみのラッピングバスにつきましては、もうしばらく運行するとのことですので。

写真の投稿・撮影協力をしていただいたみなさま、ご協賛いただいた企業様、そしてこのプロジェクトに全面協力をしていただいた、おのみちバス株式会社様、OB諸先輩方のみなさま本当にありがとうございます。笑顔あふれる2525バスは今日も、みなさまの心の中で走り続けます。



(記事…2021年度組織活性化委員会 村橋聡)

# 委員会・事務局紹介

## 会員拡大委員会

会員拡大委員会の石岡です。

当委員会は沼尾委員長を筆頭に新入会員20名獲得を目標として委員会活動に取り組んでいます。

とにかく1人でも多くの拡大対象者に尾道青年会議所の魅力や楽しさを知って頂き、ともに成長していく仲間となってもらえるように委員会メンバー全員で知恵を出し合い活動を行っています。

特に委員長はメンバーの意見や考えをスポンジのように吸い上げ一つの形にすることに長けているのでとても心強いです。

尾道青年会議所の発展を通じてさらなる尾道のまちづくり・ひとづくりに貢献できるようメンバー一同、拡大

活動に邁進してまいりますので宜しくお願い致します。

(記事：会員拡大委員会 石岡 由光)



## 事務局

セクレタリーの高垣です。

本年度の事務局は今岡理事長の掲げるテーマ『守 破 離』のもと、会全体の運営、各事業のサポートをさせて頂いております。

真面目で時に冗談を言う今岡理事長、ユーモアのある大西専務、時に毒舌の中島事務局長、スーパーセクレタリー安保君、少々ポンコツの高垣、中々にバランスが取れた最高のチームになっております。

このチームで活動できる事に日々感謝しながら、一丸となって本年度を乗り越えたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

(記事：セクレタリー 高垣 悟)



4月30日(土)庄原カンントリークラブにて天候にも恵まれた中、広島ブロックゴルフ大会が開催されました。開会式がハイブリッド形式で行われるなど新しい形で、総勢172名の参加者がゴルフを通して、LOMの垣根を超えて交流することが出来ました。

## 広島ブロック ゴルフ大会



吉田実行委員長ベスグロ賞おめでとございます。またおいしいご飯をお願いします。  
広島ブロック協議会の皆さま、並びに主管いただいた庄原青年会議所の皆さま、本当にありがとうございました。

(記事：大池 慎三)



会全体での拡大活動目標を視覚的に捉えやすく、最後までモチベーションを保つ一助として「拡大パズル」を行っています。63人の現役会員の数で完成するパズルとなっており、会員1名につき1つのピースを配り、拡大活動を行っていただくと、ジグソーパズルのピースをはめられるといった内容です。

こちらの完成品は8月の夏期講習内で理事長にお渡しする予定ですので、拡大活動を積極的に取り組んでください。

(記事：会員拡大委員会 副委員長 島田 昌広)



# 65周年記念式典特集

5月14日(土)に65周年記念式典を執り行います。新型コロナウイルス感染症対策のため会場参加人数が制限されていますので、この度は動画配信も同時に行います。式典内容は次のような予定となっております。

## 式典次第

- オープニング
- 開会宣言
- 国歌並びにJCソング斉唱
- JCIクリード唱和
- JCIミッション並びにJCIビジョン唱和
- JC宣言文朗読並びに綱領唱和
- 物故会員追悼
- 来賓紹介・OB紹介・来訪JC紹介
- 理事長挨拶
- 来賓祝辞
- 祝電披露
- シニアクラブ会長挨拶
- スポンサーLOM表彰
- 歴代理事長紹介及び記念品授与
- 記念事業の紹介
- 謝辞
- 閉会宣言

この度、65周年記念式典を開催するにあたりまして二つの想いからテーマを「感謝～このまちで、これからもずっと～」としました。一つは、式典をする意味を考えた時に65周年記念式典が開催できるのは、尾道青年会議所の諸先輩方が尾道で活動し65年という歴史を繋いできたからだと思ひ、その歴史・活動に感謝する機会にしたいという想いです。もう一つは、感謝という気持ちには人を動かす力があるからです。人は、誰かにお世話になったり、助けて貰ったりすると感謝の気持ちを持って、今度はその人の為に何かをしたいという気持ちが芽生えると思ひます。我々青年会議所メンバーも尾道という「まち・ひと」に育てて頂き、地元の「まち・ひと」に感謝の気持ちを持って行動し、今後の活動をより良くしたいという想いです。

(記事：65周年実行特別委員会 副実行委員長 村上 康)

5月2日の合同委員会で65周年実行特別委員会が、尾道青年会議所の創立時の様子や諸先輩方が尾道に残してきた功績、事業、当時の苦労話、失敗談などを資料や動画を交えながら発表し、現役メンバーは、尾道青年会議所の歴史の一部を学び、式典に向け感謝の気持ちを高めました。特に30年前の事業の貴重な動画は、現役メンバーにはとても新鮮でした。

(記事：総務広報委員会 委員長 村橋 聡)

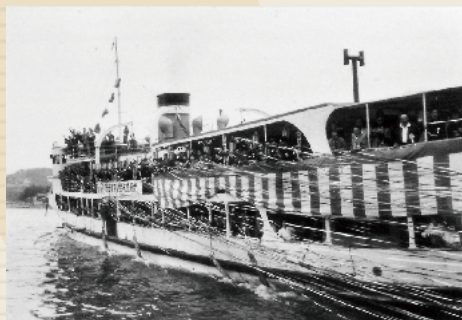


## ◀10周年記念事業

10周年記念事業 文学のこみち

## ▶認証式記念 船上パーティー

尾道青年会議所の認証式の記念パーティーは、当時尾道に大きなホテルや会場がなかったことから大きな船を借りその中で開催された。



## のろしりレー記者会見



## ◀のろしりレー

昭和63年は、青函トンネルと瀬戸大橋が開通し、JRの鉄道が全て線路で結ばれたことから一本列島の幕開けと呼ばれた。その青函トンネルの開通と同じ日に新尾道駅が開業。当日、大阪から尾道まで新幹線と、のろしりレーどちらが早いかを21の各地青年会議所が協力し競争を行い大きな注目を集めた。



## ▶合同委員会

5月2日に開催された合同委員会(オンライン)の様子



## 編集 後記

コロナもまだまだ終わりの見えない中、皆さんGWはいかががお過ごしでしたでしょうか？去年イッキに10キロも太りましたJC2年目の福島です。痩せようとしていたのですが村橋委員長の飲みっぷりと夜の長さの道ずれに今年はまだあきらめませんでした。千光寺の新しい展望台のぼりましたか？開放感溢れる展望デッキで尾道が一望できる景色は圧巻です。八朔ソフトクリーム片手に行ってみてください。新名所で尾道も益々盛り上がりますね。(記事：福島 侑)

HP



facebook

